

社長就任のご挨拶

代表取締役社長 島袋 久哉



社員の皆さんへ

去る6月24日に開催された株主総会後の取締役会にて社長に就任いたしました。大役をお任せつかり責任の重大さを考えますと身の引き締まる思いです。就任にあたり、私の今の思いや皆さんに心がけてほしいことなどをお伝えしたいと思います。

当社は2021年に創立20周年を迎えました。2001年の分散型電源事業からスタートし、2009年には日本初の可倒式風力発電設備の導入、2015年からは沖縄県内初の天然ガスの供給と、社名のとおり先進的(プログレッシブ)で経済的かつ環境性の高い総合エネルギーサービスを提供してきました。設立当初から事業環境の変化がもたらす成長機会に対して果敢にチャレンジし、着実にビジネスモデルを進化させてきました。

これまでの社業発展にご尽力された湊前社長はじめ諸先輩方ならびに役職員の皆さまに心から敬意と感謝を申し上げます。今後は目標達成に向けた課題を一つひとつ克服していきながら会社基盤を盤石なものにし、持続的な成長・発展を果たしていけるよう皆さんと一緒に努力していく所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、当社を取り巻く環境は、競争環境の激化、脱炭素化、DX、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢等に端を発する燃料価格の高騰など、大きな環境変化への柔軟かつ迅速な対応が求められています。脱炭素社会の実現に向けて、沖縄電力は2020年に「2050 CO<sub>2</sub> 排出ネットゼロ」を宣言し、様々な施策にチャレンジしています。当社も沖電グループの一員として環境負荷の低い天然ガスの供給事業や、可倒式風力発電関連事業・太陽光発電事業等の再生可能エネルギー事業の確立および拡大への取り組みを強化していくことに加えて、新たな業務への展開、将来の技術革新に対応できるよう今から備えておくことが必要だと思っています。

事業環境の変化への対応は不可欠ですが、事業の存続発展はしっかりとした会社の基礎があってこそ成り立つものです。会社の使命や経営理念は仕事をするうえでの礎として心に留めていただきたいと思います。

1 安全と健康の確保を最優先に

安全は企業活動の根幹であり最優先すべきものです。当社は、多くの現場を抱え 365 日 24 時間体制で設備の維持管理に努めています。作業ルールの遵守や報連相の徹底などは当然ですが、個々の安全意識を高めお互いに気づいたところは声を掛け合い、作業や職場環境の改善を積極的に図っていきましょう。

また、エネルギーの安定供給を実現するには心身ともに健康であることが大切です。社員は会社の宝であり財産です。一人ひとりが安全に一日を終え、健やかな生活を送ってこそ、会社は健全に成長できるのです。安全文化の醸成に努め、常日頃から体調管理には十分留意していきましょう。

2 信頼関係の構築に向けて

当社は様々な関係者のご支援ご協力に支えられて成り立っています。取引先にはそれぞれの立場、考え方や思いがあります。それを受け止めて誠実丁寧な調整や交渉を進めることや現場での日々の業務における地道な努力の積み重ねが、双方が共存共栄できる信頼関係の構築に繋がっていくものだと考えています。

正しい考え方をもち、当たり前のことを誠実に丁寧に実践していきましょう。そして当社の強みであるスピーディな意思決定と行動に磨きをかけ、迅速な対応を目指していきましょう。お客さまの期待する課題解決に向けた提案までできれば理想的です。

また、法令・社会規範を遵守し、一人ひとりが高い倫理観を持って行動しましょう。取引先から「PEC に任せれば安心」という声が聞こえてくること、電話口で「もう一度会社名をお願いします」という声なくなるくらい社外の方にプログレッシブエナジーのことを認知していただくことを個人的な目標としたいと思います。

3 ともに成長を

社員の成長、会社組織の発展に向けて風通しの良い環境を作りたいと思っています。社員一人ひとりの意見や疑問、アイデア、アドバイスなどが、年齢や立場に関係なくお互いに忌憚なく言い合える良好なコミュニケーションが取れる会社にしていきましょう。それによって、これまで以上に明るく楽しく働きがいのある会社を目指すことができ、仕事も家庭も好循環が形成できることに繋がると思います。

また、万全な業務体制の確立や新規業務の獲得などには資格の取得が大きな力になり、仕事の安定度や取引先からの信頼度も増します。一人ひとりが現状に満足せず、自己研鑽に努め必要な資格の取得に向け取り組みましょう。

そして仕事を通して人間力と技術力を磨き、個人の成長だけでなく、チームや関係者と協調し柔軟に対応できる人材に育っていただきたいと思っています。

最後に、当社は沖縄県で LNG を供給し、日本で可倒式風力発電関連事業を行っている唯一の会社です。総合エネルギー事業の一翼を担う沖電グループの会社として、これまで培ってきた知識と技術力に誇りと自信、責任感をもって業務に取り組み、今後も社名のとおり様々な課題に果敢に挑戦し進歩していきましょう。

社内研修

当社では、「健康経営の推進」および「働きやすい職場環境づくり」を目的として、以下の研修を実施しました。その研修内容を紹介します。

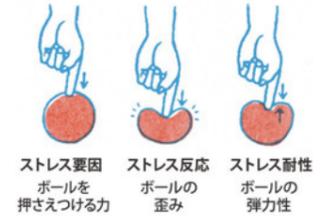
メンタルヘルス e-ラーニング研修

健康経営の推進に向けた取り組みの一貫として、8月に「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト“こころの耳”」のサイトを利用し、e-ラーニングで学ぶ「15分でわかるセルフケア」を実施しました。ストレスへの気づきと対処を理解し、実践できるよう継続して取り組んでいきます。

※職場のメンタルヘルス対策に取り組む事業者向けの、メンタルヘルスケアに関する様々な情報や相談窓口を提供しているメンタルヘルス・ポータルサイト  
(URL: <https://kokoro.mhlw.go.jp/e-learning/selfcare/>)

研修内容は以下の通りです。

1. いつもと違う自分に気づこう～こんなことはありませんか?～
2. ストレスってなに?
3. ストレスとつき合う方法
4. なぜ、職場のメンタルヘルスケアが必要なのか
5. メンタルヘルス不調は防ぐことができます
6. 国を挙げてメンタルヘルスケアを推進しています



▲ストレスとは (e-ラーニング資料抜粋)

ハラスメント オンライン研修

社員の働きやすい職場環境づくりの一環として、8月に「みんなでNOハラスメント」のサイトを利用し、ハラスメントに関するオンライン研修を実施しました。研修後の確認テストで全問正解するとダウンロードできる「受講証明書」を全受講者が取得しました。

(URL: <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/learning/roudou/>)

研修内容は以下の通りです。

- 第1章 職場のハラスメントの基礎知識
- 第2章 パワーハラスメントの具体例
- 第3章 どうすればハラスメントを防止できるのか



▲受講証明書

廃棄物を排出する事業者には、自らの責任において適正に処理しなければならない責務が課せられていることから、基礎的な廃棄物管理について理解することを目的として、以下の研修を実施しました。その研修内容を紹介します。

廃棄物管理に関する基礎研修

不適正な廃棄物処理を行わないようにするため、8月に廃棄物処理法等に関する研修を実施しました。研修後は受講者の理解度を確認するため、理解度チェックテストを行いました。

研修内容は以下の通りです。

1. 廃棄物管理が重要な理由
2. 廃棄物処理法とは
3. 不要物が発生したら
4. 不要物の保管を行う
5. 廃棄物の処理を行う



編 / 集 / 後 / 記 /

◎ ラジオからセブテンパーソンが流れだし、鼻歌とともに昔を懐かしむ。昨今、音楽配信サービスを利用すればいつでも自分好みの音楽が聴けるが、ラジオから流れ出す音楽には突拍子もなく心を掴まれる。♪September rain rain9月の雨は冷たくて♪日曜日の昼下りのことでした。

◎ 秋口の行楽シーズンに台風 11 号、12 号の襲来。直撃は免れたものの2週連続週末の天気は大荒れで、楽しみにしていた予定がキャンセルになった。おかげで9月末の資格試験へ向けて絶好の勉強日和となりました。試験の結果発表が楽しみです。

## 01 【緊急車両】

### 緊急自動車導入

2022年7月13日(水)に緊急自動車を導入しました。緊急自動車の導入により、急なガス漏れや災害時等の非常時に迅速に駆け付け、修繕および2次災害の防止などの速やかな対応が可能となりました。

緊急自動車は緊急走行時に赤信号を通過できるなど様々な道路交通法の規制緩和を受けますが、緊急走行は危険を伴うため、より一層気を引き締めて安全運転を心がけます。



▲中城村に在する成田山福泉寺にて交通安全祈願



▲左から大演課長代理、島袋社長、神元常務、安田

### 緊急自動車の運用研修

#### 【社外研修】

緊急自動車の導入に先立ち、2022年6月30日(木)～7月1日(金)に緊急走行に関して経験豊富な大阪ガスオートサービスさまの研修に参加しました。当研修では、緊急自動車を運転する際の心得を学び、緊急走行を想定した模擬訓練を行いました。模擬訓練では、実際に緊急自動車のサイレンを吹鳴させ、交差点への進入の際には、運転手は走行ルートを助手手に伝え、助手手は周囲の車両や歩行者等に広報活動を行うなど、運転手と助手手は連携しつつ緊急走行時の注意点を確認しました。

#### 【社内研修】

緊急自動車を運転するにあたっての危険察知能力の底上げや周囲の車両や歩行者等への広報活動のレベルアップを図るため、社内研修を行いました。当研修は今後も継続的に実施し、実務担当の技能向上に努めていきます。



▲中城村内の走行ルート確認



▲当社内での座学の様子

## 02 【安全祈願祭】

### 中城村内ガス導管延長工事 安全祈願祭

2022年8月15日(月)、中城村内ガス導管延長工事の着工に先立ち、安全祈願祭を執り行いました。施工者であるヤシマ工業株式会社さまと共に、安全第一、無事故・無災害で完了できるよう祈願をいたしました。

本工事は、2015年に運用を開始した当社近隣地域の法人のお客さまにガスを供給する導管の延長工事です。本工事により牧港地域からのガス供給のバックアップも可能となり、更なる安定供給体制の強化を図ることができます。



▲鍬入れの儀 左から、ヤシマ工業(株)仲田社長、当社島袋社長

## 04 【社内イベント】

### 秋のウォーキングイベント

9月1日(木)～10月31日(月)の61日間の日程で、「第3回 PEC ウォーキングイベント」を開催しています。本イベントはスマートフォンアプリなどを活用し、実施期間中の累計歩数を競うものです。

目標歩数は30万歩で、上位1位～5位および目標達成者には認定証を発行します。

残暑が続きますが、熱中症予防対策を万全にしつつ、運動不足解消に向けてウォーキングを楽しみましょう。



## 03 【協定締結】

### 株式会社松山商事さまとの「災害時における資機材融通に関する協定」締結

2022年8月18日(木)、当社は株式会社松山商事さまと「災害時における資機材融通に関する協定」を締結いたしました。

株式会社松山商事さまは、従前からガス設備修繕補修の資機材供給を行っていただいている実績もあることから、今回の協定締結に至りました。

本協定を通じ、災害発生時などの緊急時においても、速やかに資機材の調達を行い、更なる保安の確保、エネルギーの安定供給に努めていきます。



▲協定調印式  
右から、(株)松山商事 金城専務取締役、当社 島袋社長

## 05 【社会貢献】

### 献血への協力

沖縄県赤十字血液センターから献血の協力依頼があり、7月14日(木)、吉の浦火力発電所構内に駐車した移動献血バスにおいて、当社から5名の役職員が献血に協力しました。



▲献血に協力する前黒島さん